



キプロス共和国

Republic of Cyprus

2007年11月現在



一般事情

- 1.面積 9,251平方キロメートル(四国の約半分)
- 2.人口 約74万人(2005年 キプロス観光局ホームページ)
- 3.首都 ニコシア
- 4.民族 ギリシャ系(約65.6万人)、トルコ系(約8.8万人)その他
- 5.言語 現代ギリシャ語、トルコ語
- 6.宗教 ギリシャ正教、回教
- 7.国際日 10月1日(独立記念日)
- 8.通貨 キプロス・ポンド(C£)

為替レート キプロス・ポンド = 約2.17米ドル(2006年 キプロス中央銀行)
 補助通貨単位 100セント = CENT/S

- 9.査証(ビザ) 査証及び査証料免除取極(1972年9月締結)
- 10.在留邦人数 24人(2007年10月現在)
- 11.在日当該国人数 -
- 12.電源 V Hz
- 13.国際電話 国番号 357 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 1.41 US\$ (20本当り)

税率 64.1%
 製造数量 5,100 (百万本/年)
 シガレットメーカー

1037 Nicosia, Cyprus.	BAT
Garanis & Petrides Ltd	BAT
GB Tobacco International Ltd	
JTI (Cyprus) Ltd.	

15.略史

年月	略史
1960年8月16日	英国よりの独立を宣言
1974年7月15日	ギリシャ軍部指導によるクーデター
1974年7月20日	トルコ軍キプロス侵攻
1983年11月15日	トルコ占領地域、 一方的に「北キプロス・トルコ共和国」独立を宣言
2004年5月1日	EU加盟

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館

キプロス共和国大使館(兼轄、中国常駐)
 Embassy of the Republic of Cyprus to Japan
 Ta Yuan Diplomatic Office Building 2-13-2, No.14, Liangmahe Nan Lu,
 Chaoyang District, Beijing, China
 電話:(86-10) 65325057、(86-10) 65325059
 在東京キプロス共和国名誉総領事館
 〒100-0006 千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 7階
 電話:03-3592-0611
 管轄区域:日本全土

政治体制・内政

- 1.政体 共和国
- 2.元首 タソス・パパドプロス大統領(Tassos PAPAPOULOS)
(2003年就任、任期5年)
- 3.議会 一院制80議席
(但し現在ギリシャ系56議席のみで構成、任期5年)
- 4.政府 (1)首相名 ポストなし
(2)外相名 エラト・コザクウ = マルクリ
- 5.内政 (1)キプロスは大統領制であり、大統領は元首兼行政の長である(首相職はない)。
2003年2月に実施された大統領選挙で、パパドプロス氏(民主党)が前職のクリリー・デイス氏(民主運動党)を破り大統領に就任し(任期5年)、労働者進歩党及び社会民主運動党と連立政権を樹立した。
(2)2006年5月に国会議員選挙が行われ、得票率では労働者進歩党が第一位、議席数では労働者進歩党と民主運動党が同数で第一位となった。
内閣と国会は分立しているため、選挙結果は内閣の構成に直接の効果はないものの、6月に内閣改造が行われた。
(3)2007年7月、来年春の大統領選挙を前に連立の一角である労働者進歩党からフリストフィアス党首(国会議長)が立候補を表明したため、同党は連立を離脱した。
(4)キプロスにとって最重要案件であるキプロス問題の解決に関しては、2004年4月の住民投票に付された国連事務総長提案の包括的合意案(通称アナン案)に対する政党間の立場に開き(主要政党では住民投票で民主党、労働者進歩党、社会民主運動党等が反対)。

民主運動党は賛成。)があるものの、ギリシャ系及びトルコ系の両地域の再統一については政策の違いは見られない。

外交・国防

1.外交基本方針

(1)キプロス問題の解決(ギリシャ系地域及びトルコ系地域の再統一)が最重要外交問題。
(2)2004年4月、国連事務総長提案の包括的合意案(通称アナン案)が両系キプロスにおける住民投票に付されたが、パパドプロス政権は同案に反対する立場を表明。

同政権は国連の仲介活動を支持しているが、アナン案の根本的修正を求めている。
一方、2004年にEU加盟したこともあり、キプロス問題解決に向けたEUの役割を重視している。

(*)「包括的合意案」(アナン案)

両系の主張を盛り込む形で作成した具体的合意案。住民投票にかけられたのは第5版。
キプロスをギリシャ系及びトルコ系構成国家からなるキプロス連合共和国とすること、大統領相当職の輪番制、両系間の住民の移住制限、両系間の境界画定等を盛り込んでいる。

2.軍事力

(1)予算 440百万ドル(2006年)
(2)兵役 徴兵制25か月
(3)兵力 国家守備隊10,000人(2007年ミリタリー・バランス)

経済

1.主要産業

観光業

2.GDP

約182.4億米ドル(2006年 IMF)

3.一人当たりGDP

約23,676米ドル(2006年 IMF)

4.GDP成長率

3.8%(2006年 キプロス統計局)

5.物価上昇率

2.49%(2006年 キプロス中央銀行)

6.失業率

3.6%(2006年 キプロス統計局)

7.総貿易額

(1)輸出 約7.2億キプロス・ポンド(2005年 キプロス中央銀行)
(2)輸入 約29.7億キプロス・ポンド(2005年 キプロス中央銀行)

8.主要貿易品目

(1)輸出 衣料・付属品、果実・野菜、薬品
(2)輸入 石油、石油製品、機械類、化学品

9.主要貿易相手国

(1)輸出 英国、ギリシャ、ロシア、アラブ首長国連邦、レバノン
(2)輸入 英国、米国、伊、ギリシャ、ドイツ

10.通貨

キプロス・ポンド(C£)

11.為替レート

キプロス・ポンド=約2.17米ドル(2006年 キプロス中央銀行)

12.経済概況

(1)地中海の北東、ヨーロッパ、アジア、アフリカの接点という地理的な利点を利用して、キプロス政府は積極的に外国資本の誘致に努力してきたこともあり、近年特に海運及び金融の部門が発展している。

また、毎年200万人以上の旅行客がキプロスを訪問しており、観光業も発達している。

(2)EU加盟により付加価値税や法人税の引き上げなどEU規則との税制調和が行われてきたが、経済は依然として堅調。失業率はほぼ完全雇用近く、インフレ率も低く抑えられている。

(3)2007年2月、ユーロ導入を目指し、EMU(経済通貨同盟)に参加申請を行った。

同年7月、EU理事会において2008年1月からのユーロ導入が決定された。

(4)一人当たり国民総生産は2004年の新規EU加盟国中最も高く、生活水準も高い。

経済協力

1.我が国の援助実績

(1)有償資金協力 なし
(2)無償資金協力 なし
(3)技術協力実績(1982～1998年累計) 0.93億円

二国間関係

1.政治関係

伝統的に友好関係。
我が国は所謂「北キプロス・トルコ共和国」不承認の立場。

2.経済関係

対日貿易

(イ)貿易額(2005年)
輸出 20億円
輸入 321億円(出典:財務省通関統計)
(ロ)主要品目(2005年)
輸出 生鮮・冷凍魚(92.4%)
輸入 乗用車(46.2%)、船舶(40.0%)

3.文化関係

1982年7月 現代舞踊グループが国際交流基金の派遣によりリマソール芸術祭に参加。
1986年3月 国際交流基金60年度事業にてキプロス教育研究所に図書寄贈。
1993年 万博基金助成事業によりキプロス神経・遺伝学研究所に対し電子顕微鏡を寄贈。
1996年3月 国際交流基金事業によりキプロス大学に図書寄贈。
2000年11月 日・キプロス修好40周年を祝い、キプロスにおいて日本文化週間を開催。
2005年 「日・EU市民交流年」の枠組みで、5月に「日本文化週間」として現代日本映画祭、生け花展示会及び書道レクチャー・デモンストレーション・ワークショップを開催。

4.在留邦人数

24人(2007年10月現在)

5.在日当該国人数

—

6.要人往来

(1)往

年月	要人名
1990年	小宮山衆議院議員を団長とする超党派議員団 (IPU総会)
1991年	連合参議院PKO視察議員団
1996年	小川外務政務次官
2002年	瓦 日・キプロス友好議員連盟会長

(2)来

年月	要人名
1970年	マカリオス大統領(国賓)、(キブリアヌー外相同行)
1973年	コロカシディス商工大臣
1982年	キプロス貿易代表団(アンドレウ商工大臣が団長)
1984年	キブリアヌー大統領、イアコヴ外相
1989年	ヴァシリウ大統領、ネミツァス商工大臣(大喪の礼)
1990年	海事・商業代表団(カツリデス大統領顧問が 団長)
	ヴァシリウ大統領(即位の礼)
1991年	ネミツァス商工大臣
1994年	アダミーディス通信・公共事業大臣
1997年	カスリーディス外相(外務省賓客)
1999年	ロランディス商工観光相
2000年	ピリス外務事務次官
2004年1月	リリカス商工観光相
2005年5月	ヤコヴ外相
2007年10月	ネオフィートゥー・キプロス日本友好議員連盟会長他

6.二国間条約・取極

査証及び査証料免除取極(1972年9月締結)

7.外交使節

我が方

在キプロス日本大使館(在ギリシャ日本大使館が兼轄)
 在リマソール名誉総領事館(ガラタリオティス名誉総領事)

キプロス側

在日キプロス大使館(在中国キプロス大使館が兼轄)
 在京キプロス名誉総領事館